

日本教科内容学会  
Japan Society of Subject Contents

第 1 回研究大会

プログラム

2014 年 5 月 3 日（土）・4 日（日）

会場 鳴門教育大学

連絡先

綿引 勝美 Tel 088-687-6510, watahiki@naruto-u.ac.jp

佐藤 勝幸 Tel 088-687-6407, kksato@naruto-u.ac.jp

1. 会場：鳴門教育大学本部棟 3 階大会議室
2. 大会日程

○第1日目 5月3日(土)

13:00	13:20	14:00	15:30	17:30	18:00	20:00
受付	総会	基調講演	シンポジウム	移動	懇親会	

総会

基調講演：「教科内容学はなぜ必要か」 広島大学大学院教授 竹村信治

シンポジウム：教員養成における教科内容学の学問としての可能性

シンポジスト	広島大学教授	竹村信治
	聖徳大学副学長	増井三夫
	上越教育大学副学長	林 泰成
	愛媛大学准教授	梶原郁郎
	鳴門教育大学教授	松岡 隆
司会	鳴門教育大学教授	菊地 章, 佐藤勝幸

懇親会 本学大学会館

○第2日目 5月4日(日)

8:30	9:00	12:00	13:00	14:00	14:10	16:00
受付	個人研究発表	昼食	個人研究発表	休憩	課題研究	

個人研究発表

課題研究：教科書作成からみえてきた教科内容学の方向性

話題提供	算数	鳴門教育大学教授	松岡 隆
	国語	鳴門教育大学教授	村井万里子
	理科	鳴門教育大学講師	早藤幸隆
	音楽	鳴門教育大学教授	頃安利秀
	図画工作	鳴門教育大学准教授	内藤 隆
	技術・情報	鳴門教育大学教授	菊地 章

### 3. 参加申込

#### (1) 大会参加費・懇親会費

大会参加費、懇親会費は次のとおりです。

研究大会当日に受付でお支払い下さい。

会 員	大会参加費	懇親会費
一 般	4,000 円	3,000 円
学 生	3,000 円	3,000 円

(2) 当日の参加

大会当日も、大会参加および懇親会の受付をいたします。奮ってご参加下さい。

4. 学会費の納入

学会費は大会受付にて納入下さい。口座が開設されましたら、改めて連絡いたします。

5. 昼食

会場近辺には飲食できる場所がほとんどございません。お弁当を申し込みいただいた方は、お弁当の代金（1,000 円）を受付でお支払い下さい。

6. クローク

受付と同じ階にクローク（本部棟小会議室）を用意しておりますので、ご利用下さい。

7. 個人研究発表者のみなさまへ

(1) 発表時間 15分（質疑応答込み）

合図 1 鈴・・・・・・10分

2 鈴・・・・・・12分

3 鈴・・・・・・15分

(2) 発表では、会場で準備しているパソコン（Windows7, PowerPoint2007, 2010）を利用して下さい。データファイルは USB メモリーなどをご持参下さい。ウイルスチェックを必ず行って下さい。

(3) 当日の資料配付

資料配付を予定されている方は、会場入り口付近にテーブルを用意しておりますので、ご利用下さい。なお、会場での増し刷りは応じられない場合もありますので、予めご理解下さい。

(4) 発表欠席者の場合は、発表時間・発表順序の繰り上げを行わず、司会者の判断で休憩あるいは自由討議などの時間とします。

基調講演

「教科内容学はなぜ必要か」

広島大学大学院教授 竹村 信治

## シンポジウム

テーマ 教員養成における教科内容学の学問としての可能性

### シンポジスト

広島大学教授 竹村 信治

聖徳大学副学長 増井 三夫

上越教育大学副学長 林 泰成

愛媛大学准教授 梶原 郁郎

鳴門教育大学教授 松岡 隆

司会 鳴門教育大学教授 菊地 章，佐藤勝幸

## 教員養成における教科内容学の学問としての可能性

子どもの学力の育成は、各教科の教科内容の学習によって成立する。一方には、学力観の変化から、現在の学校教育における学力の評価は、相対評価から学習指導要領の指導内容を達成しているかで評価する目標準拠の絶対評価となった。このような評価観においては、各教科の教科内容の在り方が極めて重要となり、それを担う教員が各教科の教科内容をどのように自分のものになっているかが一層問われる。

教員養成大学・学部において教科内容を直接的に担う専門分野は、教科専門である。平成13年の「在り方懇」（「今後の国立の教員養成系大学・学部の在り方について」）は、この教員養成における教科専門の教育内容が理学部や文学部等の内容と同じで、学校教育の教育実践との乖離があり、子ども達の発達を想定したものになっていないということを指摘し、教員養成大学・学部が独立した専門分野を築くには、教員養成大学・学部独自の教科専門の創出が必要であると提言している。その教科専門は、学校教育の教育実践に生き、子どもの学力育成と発達を助成する各教科の教科内容を「教科内容学」として創出することである。

学問研究には、研究対象と研究方法が確定されなければならない。それはどのような枠組みなのか。理学部や文学部等の専門学部は、個別学問研究のための専門教育であり、そこには、研究の対象と方法の独自性がある。そして、歴史的に蓄積された学問・科学・芸術・技術等の継承と創造を第1の目標とするために、常に最先端の研究対象に興味がある。これに対し、教員養成大学・学部の教科専門や諸科学の専門分野は、第1には、専門学部と同様に個別学問や諸科学等の研究であるが、単にそれだけではなく、第2には、教科専門の教科内容を教育実践との関連で研究することである。従って、教科内容学の学問としての研究の対象は、教員養成及び学校教育における各教科の教科内容にあり、それらを教科の専門の立場と教育現場の授業実践の立場から捉え、「教科内容学」としての体系性を創出するものとなる。従って、後者の第2の研究には、次の二つが必要である。

一つは、学問や諸科学等の研究成果の内容が子どもの認識と成長にどのように寄与するかという教育の観点からその内容の価値を捉え、教科内容の創出を研究する。あと一つは、教科専門で担う学問や諸科学等の内容を子どもの認識と成長に寄与するように「教科内容学」として体系的に研究する。では、各教科の「教科内容学」創出の方法は何を根拠にするのか。その方法には、次のような考え方もある。それは、第1には、教科の認識論的定義をし、この認識論的定義から教科内容の構成の原理と教科内容構成の柱を導出する。第2には、導出した教科内容構成について、教育実践の学力育成や発達の観点から捉え体系性をつくる。

シンポジウムでは、教員養成における教科内容学の学問としての可能性について、この研究のこれまでの歴史、現在の教員養成における教科専門の実体と課題、教員養成における教科専門の専門分野等の立場から提案をいただき、議論を深めたい。

個人研究発表（第2日目）

5月4日（日）9:00～12:00

司会・座長

奥村 高明（聖徳大学）

9:00～9:15 学習者の視点に立つ教科内容の再構築  
－報告者の教職経験から見た教科専門の役割－

伊藤裕康（香川大学）

9:15～9:30 教科内容学から分析する教科専門と教科教育の役割

秋田美代（鳴門教育大学）

9:30～9:45 教科専門ピアノのシラバスにおける指導内容の展開

衛藤晶子（畿央大学）

9:45～10:00 教員養成校でのピアノ実技科目における指導内容の考察  
－スーパーピアノレッスンの分析より－

中村 愛（皇學館大学）

司会・座長

衛藤 晶子（畿央

大学）

10:00～10:15 音楽科の教科内容の吟味に基づいた授業の構想  
－「アランフェス協奏曲」の教材の検討と授業の構想－

○長島真人（鳴門教育大学），○上原祥子（鳴門教育大学附属中学校）松岡  
貴史（鳴門教育大学）

10:15～10:30 郷土の教材から指導内容を導出する視点に関する一考察  
－沖縄のわらべうたや民謡を教材とした事例から

小川由美（琉球大学）

10:30～10:45 わらべうたの授業における教科内容  
－《らかんさんがそろたら》を教材とした3年生の実践から－

小林佐知子（大阪教育大学院・院生）

10:45～11:00 篠笛の導入指導における指導内容  
－入門教則本と学校教育との比較を通して－

大和 賛（大阪教育大学院・院生）

司会・座長 石濱 博之（上越教育大学）

- 11:00～11:15 民謡による身体の動きと音楽の諸側面との関連を指導内容とした教材開発  
東 真理子 (大阪成蹊大学)
- 11:15～11:30 米国音楽教科書『Silver Burdett Music』(1978)における「The Arts」の指導  
内容－幼稚園から第6学年まで－  
山本祐子 (愛知県刈谷市立亀城小学校)
- 11:30～11:45 Yoko Ono それとも Ono Yoko ?  
－中学校英語教科書における日本人名の順序について－  
藪下克彦 (鳴門教育大学)
- 11:45～12:00 数学教師に必要な数学能力の育成－RIMS 共同研究について－  
大竹博巳 (京都教育大学)

個人研究発表 (第2日目)

5月4日 (日) 13:00～14:00

司会・座長 浪川 幸彦 (椋山女学園大学)

- 13:00～13:15 教育学部, 教育学研究科における数学研究のいくつかの事例  
○伊藤仁一 (熊本大学), 山下雄太郎 (熊本大学大学院・院生)
- 13:15～13:30 教科間の境界領域の内容についての考察－理科を例に  
胸組虎胤, ○早藤幸隆 (鳴門教育大学)
- 13:30～13:45 総合学習の実践にみる教科内容  
－奈良女子大附属小学校「しごと」の実践より－  
廣津友香 (奈良教育大学)
- 13:45～14:00 伝統音楽教育からみる教員養成の現状と課題  
－韓国の教員養成大学を中心に－  
金 奎道 (鳴門教育大学大学院・院生)



## 課題研究

### テーマ 教科書作成からみえてきた教科内容学の方向性

**趣旨：** 鳴門教育大学では、これまで積み重ねてきた教科内容学研究の成果を具体的な形にするため、上越教育大学および岡山大学と連携し、小学校教員養成における教科専門科目の教科書の作成を行った。この作成作業において、教科内容学の成果を教員養成の実践の場に生かす際に生じる課題がより明確となってきた。また、各教科で作成された教科書を比較検討することによって、教科内容学とその実践方法に対する認識の教科による相違点とともに、それぞれの教科における教科内容学に通底する要素が見えてきた。すなわち今回の教科書作成により、教科内容学研究をより深めるための幾つかの視点が浮かび上がってきたのではないかと考える。

本課題研究では、教科書の概要と課題についての各教科からの報告を元に議論を行い、今後の教科内容学研究の方向性について探っていきたい。

### 話題提供

算数	鳴門教育大学教授	松岡 隆
国語	鳴門教育大学教授	村井 万里子
理科	鳴門教育大学講師	早藤 幸隆
音楽	鳴門教育大学教授	頃安 利秀
図画工作	鳴門教育大学准教授	内藤 隆
技術・情報	鳴門教育大学教授	菊地 章
司会	鳴門教育大学教授	秋田 美代